

令和 7 年 2 月 19 日

市政記者クラブ 様

教育委員会事務局総務部総務課
担当 武藤、安藤
電話 972 - 3275

**陸前高田市の子どもたちとの交流事業（絆交流事業）に関する
ご寄附に対し感謝状を贈呈します**

教育委員会では、陸前高田市教育委員会との「絆協定」に基づき、両市の中学生が互いに訪問しあう双方向の交流（以下、「絆交流」と言います。）を行っています。

このたび、ダイコク電機株式会社様から、下記のとおり絆交流事業にご寄附をいただきましたので、下記のとおり感謝状贈呈式を行います。

記

1 受贈日等

令和 7 年 2 月 26 日（水）午後 4 時 00 分から
名古屋市役所東庁舎 6 階 教育長室にて

2 出席者

ダイコク電機株式会社 代表取締役社長 栢森雅勝様、
特定非営利活動法人防災自助普及委員会 代表 伊藤知恵様、
教育長 他

3 寄附の内容

〇202,000 円

<内訳>

- ・絆交流事業に対するご寄附 100,000 円
- ・令和 6 年度の絆交流に参加している本市中学 2 年生及びこれまでの絆交流の参加者（センパイ）希望者の 34 名に対して、防災検定を個人負担なしで受検させていただいたもの 102,000 円相当
（参考：防災検定 4 級または 3 級の検定料一人 3,000 円×34 名）

4 防災検定（実施済）

日 時：令和 6 年 12 月 23 日（月）午後 4 時 15 分から午後 5 時 00 分

場 所：名古屋市教育館 第 4、5 研修室

受検者：令和 6 年度の絆交流に参加している本市中学 2 年生 22 名、これまでの絆交流の参加者（センパイ）12 名の計 34 名

【ダイコク電機株式会社】

パチンコホール向けコンピューターシステムの開発等を展開している、名古屋市に本社を置く企業です。経営理念は、イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、持続的な成長を果たすことです。

近年は、その開発技術を生かし、ロボットと社会をつなぐ可能性を求め専門部署を立ち上げ、小学生向けプログラミング教育に向けた取り組みを行っています。

なお、プログラミングはあくまでも手段であり、それを通じて論理的思考や課題解決力を身につける事で、子供たちが社会で活躍できるきっかけとなることを目指しています。この取り組みは、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」と、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に位置付けています。

また、絆交流事業に関しては、令和5年度より、陸前高田市中学2年生の職場体験先（10社のうちの1つ）として受入れを行っています。



【防災検定】

防災を担う人材を幅広く育成することを目的としており、日本で唯一の防災検定です。（一般財団法人防災教育推進協会が主催（東海支部は防災自助普及委員会内））

内容は、防災や自然災害に関する知識を測る検定です。防災教育の指導者資格としての活用や、生涯学習のツールとして活用されています。